

令和 7年 1月 23日

報道機関 各位

**【 2/11 】 山陰研究センター設立 20 周年記念シンポジウム
「山陰研究の可能性と広がり—人文科学と社会科学の試み—」を開催します**

◆本件のポイント！

- ・今年20周年を迎えた山陰研究センターの、山陰地域研究の成果を報告します
- ・研究発展と地域貢献の可能性と広がりについて、学内外の皆様と議論していく場です

◆本件の概要

島根大学法文学部山陰研究センターは、山陰地方の特性を踏まえた人文社会科学研究に基づき、地域の経済、社会および文化の発展に寄与することを目的に活動し、今年 20 周年を迎えました。

これまでの山陰地域研究の成果を報告するとともに、今後の研究発展と地域貢献に向けた可能性と広がりについて、この度学内外の皆様と議論していく場を設けました。

◆概要内容

【日 時】令和7年2月11日(火・祝) 13:30~16:00

【会 場】島根大学松江キャンパス 教養講義室棟 2号館 3階 604 教室

【参加方式】参加無料 / 申込不要

【プログラム】

13:30~15:00 講演

- 生態系の中で営まれる農畜産業の再構築—アグロエコロジーの実践と経済的持続性—
(関 耕平 島根大学法文学部 教授)
- 考古学と戦争遺跡
(岩本 崇 島根大学法文学部 准教授)
- 災禍を語り継いだ人々—近世山陰の実録とレジリエントな社会—
(田中 則雄 島根大学法文学部 教授)

15:10~16:00 パネルディスカッション

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 法文学部 山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2025011600016/>



【添付資料: あり(1枚) なし】

山陰研究の 可能性と広がり

— 人文科学と社会科学の試み —

山陰研究センター
設立20周年記念
シンポジウム

島根大学法文学部山陰研究センターは、山陰地方の特性を踏まえた人文社会科学研究に基づき地域の経済、社会および文化の発展に寄与することを目的に2004年から活動してきました。

今年度20周年を迎え、山陰地域研究の成果を報告するとともに今後の研究発展と地域貢献に向けた可能性と広がりについて、学内外の皆様と議論していく場を設けました。

多くの方々の参加をお待ちしております。

Program プログラム

13:30–15:00

講演

- 生態系の中で営まれる農畜産業の再構築
—アグロエコロジーの実践と経済的持続性—

関 耕平 (島根大学法文学部 教授)

- 考古学と戦争遺跡

岩本 崇 (島根大学法文学部 准教授)

- 災禍を語り継いだ人々
—近世山陰の実録とレジリエントな社会—

田中 則雄 (島根大学法文学部 教授)

休憩 (10分)

15:10–16:00

パネルディスカッション

2025

2/11 [火・祝]

13:30–16:00

参加無料

申込不要 / 事前申込み不要

会場

島根大学 松江キャンパス
教養2号館 3階 604教室

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060



お問い合わせ先

島根大学 法文学部 山陰研究センター

Tel 0852-32-9833 admin-src@soc.shimane-u.ac.jp

主催: 島根大学 法文学部 山陰研究センター

